

令和5年7月7日（金）  
教育委員室（オンライン）

本日は、愛媛労働局並びに愛媛県進路指導研究会との共催により、愛媛県進路指導研究協議会をオンラインにて開催しましたところ、多数の御参加をいただき、誠にありがとうございます。

皆様方には、平素より、児童生徒一人一人の進路希望が実現するよう、キャリア教育の推進に御尽力いただいております、厚くお礼申し上げます。

愛媛労働局の調査によりますと、今春、県内の高校を卒業した生徒の3月末の就職決定率は99.1%と、引き続き非常に高い水準を維持しております。また、近年増加傾向にある県内内定率は8割に達しました。これもひとえに愛媛労働局の就職支援対策や各校での生徒一人一人に寄り添った指導の賜物であり、心から感謝申し上げます。

さて、本県では今年3月に、今後4年間の本県の教育行政の根幹となる「愛媛県教育振興に関する大綱」を策定し、その中で、「教育立県えひめ」を目指すことといたしました。

この教育立県とは、教育の振興を通して、優れた人格と能力を兼ね備えた有為な人材を輩出することはもとより、その教育力の高さをもち、若者が住み続けたいと思う愛媛づくりや、全国の人や企業から評価され選ばれるような「教育で身を立てる県」となることを目指そうとするものであり、この「教育立県えひめ」をこれからの本県教育の基本方針としたところでございます。

そして、この目標を実現するために、振興方針の第一に「未来を切り拓くたくましい子どもたちの育成」を掲げています。

今のような変化が激しく予測が難しい時代にあっても、不測の事態に動じることなく、自分の発想と力で課題を乗り越える「たくましい子どもたち」を育成することが、今の教育に求められている役割であると考えて打ち出したものであり、キーワードは「たくましき」です。

このため、県教育委員会では、小学校から高校までの12年間を通じたキャリア教育に力を入れ、発達段階に応じながら、自分の人生について考えさせる教育を展開したいと思っています。

具体的には、「えひめジョブチャレンジU(アンダー)-15事業」として、中学生対象の5日間の職場体験学習に加え、今年度から新たに、全ての小学6年生を対象に、動画によるスゴ技企業等の職場紹介や、そこで働く方々とのオンライン交流などの「プレジョブチャレ夢わく Work フェスタ」を実施し、義務教育段階における望ましい勤労観及び職業観の形成を目指すこととしています。

さらに、高校生段階では、今年度から新たに、全ての県立高校等において、全ての

生徒が地元企業や地域と連携しながら、課題解決に向けた研究活動や地域の魅力発信などに取り組む「ソーシャルチャレンジ for High School事業」をスタートさせました。

これらの事業を通じて、全ての子供たちが、地域の魅力や地場産業のすばらしさに触れながら、できるだけ早い段階から、自分の人生や将来について考えを深めてもらえるような取組みを進めていきたいと思っています。

また、今年3月には「県立学校振興計画」の策定を完了し、その具体化に取り組んでいます。この計画の狙いは3つあります。

一つ目は、「多彩で魅力的な選択肢の提供」です。県立学校において、進学に強い総合学科や、情報系・スポーツ系・国際系など、39の学科・コースを開設します。そして、これらを各地域にバランスよく配置することで、子どもたちに、豊富な学びの選択肢を提供します。

二つ目は、「職業・学科の横断的学習の展開」です。普通科と様々な職業学科を併設する学校を、複数校設置します。専攻する学科の勉強だけでなく、多くの分野の学びに触れることで、より広い視野と知識を兼ね備えた人材の育成を目指したいと思います。

三つ目は、「進学指導の充実」です。これは、進学エリート校を作るということではなく、各学校の進学指導のレベルを、全体的に底上げすることで、高い目標を持った子どもたちが、地元の学校からでも第一志望の進路に合格できる体制を各地域で確立します。

これらの施策を円滑に進め、狙い通りに目的を達成していくためには、進路指導を担当する先生方の理解と指導が欠かせません。

義務教育段階の先生方をお願いします。

愛媛県の県立学校は大きく変貌していきます。私立学校も変わりつつあります。これからは「とりあえず高校に進学する」「なんとなく普通科に進む」のではなく、生徒個々の適性或希望に沿った将来展望を考えさせながら、その方向に沿った志望校を自分で選択できる児童生徒を一人でも多く育ててほしいと思います。

また、高校段階の先生方は、入学してきた生徒一人一人に、第一の進学希望先や就職希望先などの出口を強く意識させながら、その実現に必要な道筋を明確に示し、その支援に全力で取り組んでほしいと思います。

早い段階から自分の将来像や目的意識を考えさせ、そのための道筋を意識付けし、達成に向けた主体的な学びの姿勢を身に付けさせる。なかなか難しいミッションではありますが、このような進路指導をあらゆる段階で実践していければ、今のような混迷の時代でもたくましく生き抜いていける人材を数多く世に送り出すことができると思っています。皆さん一人一人の双肩にかかっています。よろしくをお願いします。

本日は、「個性を生かし、地域、社会に貢献する人材を育むキャリア教育」を研究主題に、四国医療サービス株式会社総務部人事労務課主任であられます 守（もり）様による「企業が求める人材」についての講演や、各部会・分科会ごとの研究発表等

が予定されております。皆様方には、活発な意見交換を通じて優良事例を共有し、引き続き、小中高連携の下、一貫したキャリア教育の推進に御尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

終わりに、本研究協議会の充実と御参会の皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、挨拶いたします。